

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-104181

(43)Date of publication of application : 20.04.1999

(51)Int.Cl.

A61F 13/58

A61F 5/44

(21)Application number : 09-274827

(71)Applicant : UNI CHARM CORP

(22)Date of filing : 07.10.1997

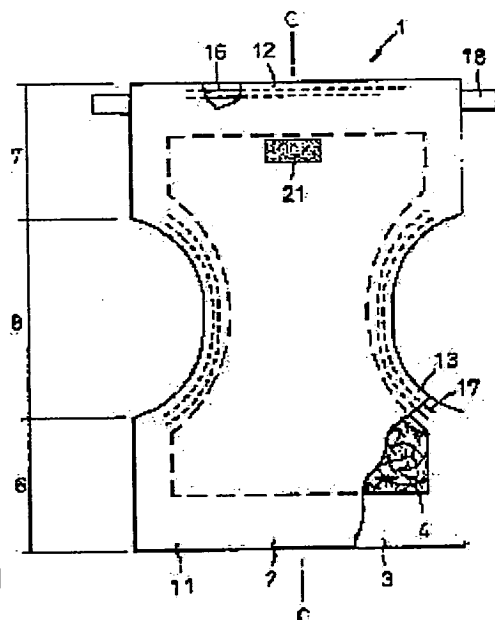
(72)Inventor : SHIMOE SHIGEAKI

(54) DISPOSABLE DIAPER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable to align the center of a body of an infant with the center of a diaper to enable the diaper to be worn without retarding even when the infant actively moves, by forming an adhesive range to releasably adhere the diaper to skin of the diaper wearer onto the edge part inner face in the back girth range.

SOLUTION: This disposable diaper 1 has a liquid permeable surface sheet 2, a liquid impermeable surface sheet 3, and a liquid absorptive core 4 existing in between both surface sheets 2, 3, and front and rear parts in the longitudinal direction of the diaper 1 are constituted of a front girth range, a back girth range, and a crotch range positioned between the ranges 6, 7. An adhesive range 21 is formed in a position covering the core 4 in the inner face of the back girth range. When the diaper 1 to be worn on an infant, the diaper 1 is fixed on the central part using the adhesive range 21. Thereby the diaper is prevented from deviating even when the infant violently moves and a retard for aligning the diaper position is eliminated.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

14.02.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

3425339

[Date of registration]

02.05.2003

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-104181

(43) 公開日 平成11年(1999) 4月20日

(51) Int.Cl.⁶

A 6 1 F 13/58
5/44

識別記号

F I

A 4 1 B 13/02

A 6 1 F 5/44

J

H

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-274827

(22) 出願日 平成9年(1997)10月7日

(71) 出願人 000115108

ユニ・チャーム株式会社

愛媛県川之江市金生町下分182番地

(72) 発明者 下江 成明

香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀1531-7

ユニ・チャーム株式会社開発本部内

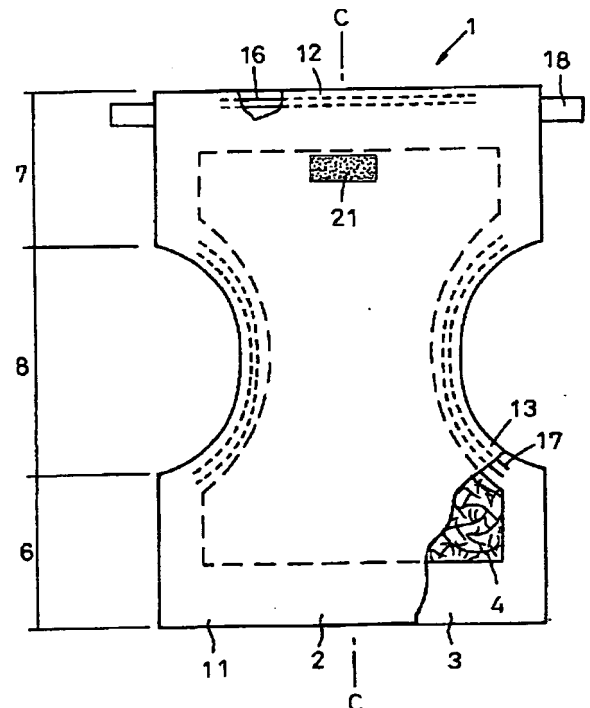
(74) 代理人 弁理士 白浜 吉治

(54) 【発明の名称】 使い捨ておむつ

(57) 【要約】

【課題】 使い捨ておむつを着用させるときに手間がかからないようにする。

【解決手段】 開放型使い捨ておむつ1の後胴周り域7の端縁部内面に粘着域21が形成される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 透液性表面シートと、不透液性裏面シートと、これら両シート間に介在する吸液性コアとを有し、前後の長手方向が前胴周り域と、後胴周り域と、これら両域間に位置する股下域とで構成され、前記前後胴周り域の側縁部どうしを離脱可能に係合させて着用する使い捨ておむつであって、前記後胴周り域の端縁部内面に、前記おむつ着用者の肌に剥離可能に止着する粘着域が形成されていることを特徴とする前記おむつ。

【請求項2】 前記粘着域が、前記端縁部における前記表面シートのうちの前記コアを覆っている部位に形成されている請求項1に記載のおむつ。

【請求項3】 前記粘着域が、水溶性粘着剤で形成されている請求項1に記載の使い捨ておむつ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、開放型の使い捨ておむつに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、前後胴周り域の側縁部どうしを離脱可能に係合させて着用する開放型の使い捨ておむつは周知である。かかるおむつは、平らに広げてその幅方向の中心部に乳幼児の身体の中心部を置いて着用させる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 乳幼児が活発に動くときには、それら中心部どうしの位置を合わせても、すぐに身体が動いてしまい、おむつを着用させるのに手間取ることがある。

【0004】 そこで、この発明は、着用させるときに手間取ることのない使い捨ておむつの提供を課題にしている。

【0005】

【課題を解決するための手段】 前記課題を解決するために、この発明が対象とするのは、透液性表面シートと、不透液性裏面シートと、これら両シート間に介在する吸液性コアとを有し、前後の長手方向が前胴周り域と、後胴周り域と、これら両域間に位置する股下域とで構成され、前記前後胴周り域の側縁部どうしを離脱可能に係合させて着用する使い捨ておむつであって、この発明が特徴とするところは、前記後胴周り域の端縁部内面に、前記おむつ着用者の肌に剥離可能に止着する粘着域が形成されていること、にある。

【0006】

【発明の実施の形態】 添付の図面を参照して、この発明に係る使い捨ておむつの詳細を説明すると、以下のとおりである。

【0007】 図1に部分破断平面図で示された使い捨ておむつ1は、透液性表面シート2と、不透液性裏面シート3と、これら両シート2、3間に介在する吸液性コア

4とを有する。おむつ1の前後の長手方向は、前胴周り域（前身頃）6と、後胴周り域（後身頃）7と、これら両域6、7間に位置する股下域8とで構成されている。表裏面シート2、3は、コア4の周縁から延出する部分で重なり合い、互いに接合して前後胴周りフラップ11、12と、脚周りフラップ13とを形成している。後胴周りフラップ12の胴周り方向と、脚周りフラップ13の脚周り方向とには、弾性伸縮部材16、17が表裏面シート2、3の少なくとも一方の内面に伸長状態で接合している。後胴周り域7の両側縁部からは、テープファスナ18が側方へ延出している。

【0008】 おむつ1の後胴周り域7の内面には、フラップ12またはその近傍に粘着域21が形成されている。粘着域21は、好ましくはおむつ1の幅方向の中心線C-Cに関して対称に、少なくとも1箇所形成され、さらに好ましくは、表面シート2のうちでコア4を覆っている部位に形成される。

【0009】 かかるおむつ1を乳幼児に着用させるときには、粘着域21を利用しておむつ1を背中中の中央部に止着することができる。そのようにすることで、乳幼児が激しく動いても、おむつは背中中でずれることがないから、おむつの位置合わせに手間取ることがない。粘着域21が、特に図示例のようにコア4の上に形成されていると、それがフラップ12に形成されている場合に比べて、乳幼児をおむつ1の上に仰向けにしたときに背中に当り易く、止着が容易になる、という利点がある。

【0010】 この発明において、表面シート2には不織布や開孔プラスチックシートを使用することができ、裏面シート3にはプラスチックシートを使用することができる。コア4には粉碎パルプや粉碎パルプと高吸収性ポリマー粒子との混合物を使用することができる。粘着域21は、肌に対する刺激の少ない水溶性粘着剤をおむつ1の内面に塗布したり、同効の両面粘着紙を貼着したりすることで形成される。粘着域21の粘着力は、肌から容易に剥がすことができるように、粘着性テープファスナ等のそれに比べて弱粘着性であることが好ましい。

【0011】

【発明の効果】 この発明に係る使い捨ておむつは、後胴周り域に形成されている粘着域を利用して、着用者の身体に止着し、身体のおむつの中心とを容易に一致させることができるから、おむつを着用させるときに手間取ることがない。

【0012】 粘着剤が水溶性であると、それが肌に付着した場合でも、湿布で容易に除去することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 使い捨ておむつの部分破断平面図。

【符号の説明】

- | | |
|---|-------|
| 1 | おむつ |
| 2 | 表面シート |
| 3 | 裏面シート |

*